

「きょうだいの日」

節約編

新聞紙があればできるゲーム



すすめわっかっかー

新聞紙1枚をひろげ、角からななめにくるくると巻いて細長い棒を作ります。それを3本つないで大きなわっかを作ります。2チーム以上に分かれ、各チームに2本ずつわっかをくべります。スタートは、チーム全員が床に置いたわっかの中に入ります。もう1本のわっかを投げ、全員で輪の中に移動し、手を伸ばして最初に置いていたもう1本のわっかを回収します。次はそれを投げて、また移動して、わっかを回収して、を繰り返して、ゴールを目指してすすんでいくゲームです。スピード勝負ですが、わっかを遠くに投げすぎると回収できないので、そのさじ加減がおもしろポイントです。

とおせわっかっかー

すすめわっかっかーで作ったわっかを再利用できます。2チーム以上に分かれて直線に並び、手をつなぎます。はしっこの人から、手を使わずにわっかを頭→胸体→足→反対の腕→と通していき、次の人にわたしていくゲームです。手をつないだまま隣の人が協力することがスムーズにわっかを移動させるコツです。最後の人までわっかが通ったら、最後の方は「わっかっかー！」と叫びます。

22

新聞棒をたおさないで

新聞紙を3枚ぐらい重ね、縦長にくるくると巻いてテープで止め、棒を作ります。1人1本新聞棒を持ち、輪になって立ちます。「せーの」で棒を残して手を離し、隣に1歩動きます。その時、動く先にある棒を倒さないように持ちます。うまくできればずっと棒を倒さないまま移動できます。みんなの息を合わせてやってみよう☆

新聞ぴりぴり

1人1枚新聞をくべります。よーいドン！でぴりぴりと新聞を破いて、制限時間内に1番長くできた人がチャンピオン☆床にびろーんと並べて誰が一番長くできたか見てみよう！

新聞キャッチボール

1人1枚新聞紙をくべり、くしゃくしゃ丸めてセロテープをくるくる巻いてボールにします（可愛い柄テープやキラキラテープを使うとオリジナルボールになります）。もう1枚新聞紙をくべって、2回たたみ、両手でもって、ボールを乗せます。新聞紙をたるませて、ぴんっと張る勢いを使ってボールを飛ばすことができます。「せーの」でお互いのボールをチェンジしたり、1つのボールをキャッチボールしたりしてあそんでみましょう。

タッチラインボウリング

床にビニールテープでラインを何本か書き、得点をそれぞれつけておきます。新聞紙を丸めてつくったボールをころころと転がして、ラインに近いところに止まった人がポイントゲット。高得点ゾーンなどをつくったりするとさらに盛り上がります。

くしゃってぼん

新聞紙をたくさん8分の1サイズに切っておきます。2チームに分け、輪になります。まんなか箱を置いて、よーいドン！で新聞紙をくしゃくしゃと丸めて箱に入るよう投げます。急いでふわっと丸めるとあんまり飛ばないし、しっかり飛ばすように丸めると時間がかかるし、意外と難しい！終了したら、玉入れのように、「ひとつ」「ふたつ」と数えていきましょう。

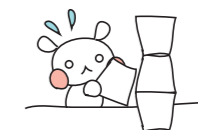
ほかにもいろいろ

わりばしふりふり

2リットルのペットボトルに割ったわりばしをたくさん入れたものを2本つくり（わりばしの数はそろえておきます）。2人で1つずつ持って、よーいドン！で、逆さにふりふりして中のわりばしをすべて出すのが早かった方の勝ち。3人以上でも楽しめます。

紙コップつみつき

チームに分かれます。紙コップをたくさん準備し、制限時間内に1番高く積めたチームの勝ち！とか、テーブルの上に紙コップを用意しておいて、リレー形式でテーブルまで走って行っては1つ積むというのを繰り返すとか、全員で力を合わせてどこまで高くできるかチャレンジ！とか、アイデアしだいでいろんな楽しみ方ができるゲームです。



紙コップでリレー

1人1つずつ紙コップを持って縦1列に並びます。ピンポン玉やスーパーボールなど、小さいものを先頭の方の紙コップに入れて、順番に後ろの方の紙コップにうつしながら、最後の人まで早く中身を届けられたチームが勝ちです。別バージョンで、横1列に並び、隣の人の紙コップに中身をうつしたら列の先頭に走って行く、というのを繰り返してゴールまですすんでいくというゲームもできます。ふくらませた風船を紙コップに乗せて走るリレーも、早く走ると風船が落ちてしまうところがなかなか難しく盛り上がります。

食べれるパンは？

何にもなくてもあそべるゲーム。ファシリテーターが食べられるパンの名前を言った時だけ「パンパン」と2回手拍子をします。「あんぱん」パンパン「ジャムパン」パンパンとリズムカルに続いてきたら「てっぱん」「フライパン」「短パン」など入れていきます。

23

新聞紙、段ボール、紙コップ、ゴミ袋…無料で手に入るもの、一度使ったもののリサイクル、お金をかけずに楽しめるゲームがたくさんあります。手を叩いて、歌って、ジャンプして、道具を使わず楽しめるゲームもたくさんあります。ゲームのルールを設定しなくても、子どもたちに材料を渡して自由にあそんでもらうこともできます。新聞紙をびりびりに破くのも、それを早い者勝ちで集めて袋に詰めるのも、詰めた袋を投げるのも、みんなで笑えばなんでも楽しい！ですよ。

当てる系のゲーム

だれが持っているでしょう？

ピンポン玉やスーパーボールなど、手の中におさまる小さなものを1つ用意します。1列に並んだ仕掛け人が、それを見えないよう隣の人に渡していくのですが、途中で誰か1人、渡すふりをして、自分の手の中に残します。最後までいった時に本当は誰が持っているのかを当てるゲームです。

黒幕は誰だ？

進行役以外全員で輪になり、答えを当てる人を1人選びます。選ばれた回答者は輪から抜け、輪に背を向けて目を閉じます。進行役は、回答者に黒幕が誰なのかかわからないように、声を出さずに「黒幕」の役をする人を決めます。決まったら全員で手拍子をしながらかたがた回答者を輪の中に迎えます。黒幕が動きを変えたら、周りの人もそれに合わせて同じ動きをします。回答者は動きの変化を見ながら、どこから始まっているのか（誰が黒幕なのか）を当てます。